

# 検察官たちが、過去最大の米での国際セックス取引検挙 を報告

米検察官が、性取引事件の残りの5名の有罪が決まったと明かす

【訳者注】この事件については、冒頭の、おんな仁王のような検察官たちの表情を、まずご覧いただきたい。これがすべてを物語っている。まさにこれは、正義の憤怒の物語である。

(動画からもわかるが) これは悪辣な組織犯罪者に対する怒りだけではない。ここには、アメリカ政府のことは一言も出てこないが、彼女らの怒りは、彼女らの調査の積極的妨害とは言えないまでも、妨害とも言えるような、国家や社会全体の、非協力体制に対するものであろう。言い換えれば、この種の最も怒るべき犯罪が、現在では、ほとんど犯罪とも思われなくなっているということである。これくらい政府のやっていることと比べれば…と、誰もが思うであろう。仁王様の憤怒が今、この社会に必要なことがよくわかる。その先頭をランプが切っている。

Jay Greenberg, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

December 18, 2018



米司法官 Erica MacDonald は、この有罪判決を記者団に報告した

連邦陪審員は、36名を、国際的セックス取引集団における役割があったとして有罪にし、この事件を、アメリカでのこの種の最大のものと考えている、と検察官たちは報告した。

米司法官エリカ・マクドナルドは、先週、ミネソタ州セントポールの地方裁判所で、残った5人の被告が、有罪とされたことを明らかにした

この大規模な国際人身売買活動は、数百人のタイ人女性を強制して、アメリカ全土で、商業的セックス行為に従事させていた。

連邦検察官たちは、この組織は、隠ぺいと経営のために、マネー洗浄を行っていたと言っている。

司法省の声明によると、カリフォルニア州シールビーチのマイケル・モリス、65、テキサス州ダラスのパウィネー・アンプラディット、46、など5名が、ミネソタ州セントポールの地方裁判所ドノバン・フランク上席裁判官によって、6週間の裁きを受けたあと、有罪が確定した。<https://www.justice.gov/opa/pr/thirty-six-defendants-guilty-their-roles-international-thai-sex-trafficking-organization>

31名の被告が、それより先、性取引集団での自分の役割の罪を認めていた。



カリフォルニア州シールビーチの Michael Morris, 65 は、法廷で否認し、運試しをした後、有罪になった者たちの一人

MPRによれば、これらカリフォルニア、テキサス、イリノイ出身の5人の被告は、性取引のための陰謀、マネー洗浄、暴力と詐欺と強要による性行動を含む、多岐にわたる罪状によ

って、有罪となった。<https://www.mprnews.org/story/2018/12/13/federal-jury-convicts-5-on-charges-they-operated-huge-sex-trafficking-ring>



米司法助手の Laura Provinzino は、この事件は、フェニックスからツインシテーズに飛んでいた、取引の犠牲者と思われる者について、警察に通報があったことから始まったと言っている。

「この事件の担当警官と私は、2014年初め、そのように説明を受けました。彼女は空港に飛び、監視をしたのです」と、プロビンチーノは言った。

「彼女は、その女がすぐわかりました。ミネソタに、この組織の使い走りをする者がいて、彼女を捕まえたのです。」

彼はこの犠牲者を、 Condom を買いにウォルマートの店に連れて行き、それからアパートに行き、彼女はセックスを売らされた。

ミネソタ米司法官エリカ・マクドナルドの話では、警察はすぐに理解した——ミネソタ・セントポール国際空港に、その日、飛んできたその女は、大きな犯罪事業に、よりよい生活を約束され、騙されてタイからアメリカにやってきた、何百人もの中の一人だった。

「この組織は、最大の、最も巧妙に作られた、超国家的な、アメリカで活動するセックス取引組織の一つです」と、マクドナルドは言った。

「そしてそれは、10年かそれ以上も続いているものです。それは、ここミネソタと、この国全体の都市に存在しています。」

この取引をする者たちは、偽の銀行口座を用い、履歴書を偽造し、犠牲者たちにビザを取ら

せるのに、結婚詐欺してやった。

女性たちは、一日に 10 回もの性行為を強要され、4 万から 6 万ドルの負債を返すよう要求されていた、と検察官たちは言った。

この事件は起訴するのに 2 年もかかり、セントポール警察署から IRS（米国内国歳入庁）に及ぶ省庁が関わった。

それは 36 人の被告を含むところまで成長し、その 31 人が有罪を認めたが、5 人は否認し、運を試してみた。

米司法助手のメリンダ・ウィリアムズは、検察官と警察官は、膨大な資料を整理しなければならなかったと言った。

「まるでマフィアの事件のようです。それは、底なしの犠牲者が湧いてくるようで、これまでに存在した最も困難な人身売買のむつかしさを、すべて具えたものでした」と、ウィリアムズは言った。

「さらにそれは、これまでに存在した、最も困難な詐欺事件と、マネー洗浄事件と、事務的困難さの、すべての特徴をもつものでした。」

調査官たちは、現金で 150 万ドルを回収した。

裁判の証言によれば、一人のマネー洗浄業者だけでも、4,000 万ドルをタイに送っている。

ロサンゼルスにある、タイ共同体開発センターは、移民や法的問題をもつ犠牲者のほぼ 20 名を援助して、彼らが正常な生活をできるように努力している。

このグループの弁護士 Panida Rzonca は、この事件の証人として呼ばれなかった他の人々から、事情聴取をしたいと言っている。

「これは、このタイ共同体でも、共同体全般でも、話題にするのが非常に難しい問題なのです」と、ルゾンカは言った。

「多くの人々がとても恥ずかしがるのです。彼らは表に出たがらないのです。しかし私は、犠牲者を知っているか、バックにいるタイの人々と接触している人々に出てきてもらいた

いのです。なぜなら、まだ彼らを助ける希望があるのだから。」

ルゾンカは犠牲者の何人かに、衝撃体験を書かせようとしている。

36名の被告に対する宣告ヒアリングは、来年早々に始まる予定である。